

授業科目名: 世界の見方とジャーナリズム	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数: 2単位	担当教員名: 佐々木伸 担当形態: 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校 社会、高等学校 公民、中学校及び高等学校 英語)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・「社会学、経済学」 ・「社会学、経済学(国際経済を含む)」 ・異文化理解		
「学位授与の方針」との関係  DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力) DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる(継続力)			
授業のテーマ及び到達目標  【授業のテーマ】 世界の動きやニュースをジャーナリズムの視点から分析、物事の見方を養う。  【到達目標】 (1)フェイクニュースが氾濫するポストトゥルース時代の現状と意味を理解できる。 (2)冷戦以降の歴史を学修、グローバル化した複雑な国際社会・情勢を把握し、ニュースの背景や政治的問題点などを説明できる。 (3)インターネットやSNS全盛時代の激変したメディア環境の実態を理解し、ニュースの読み取り方とフェイクニュースにだまされないメディアリテラシーを養う。 (4)ジャーナリズムとメディアの基本的役割と社会的な責任を説明できる。 (5)報道と権力の関係を考察し、調査報道の重要性を理解する。			
授業の概要  インターネットの発達でスマホ・SNSが全盛の中、「ポストトゥルース」時代といわれるようにフェイクニュース(虚報)が氾濫し、何が真実か不透明感が広がっている。こうした時代にあっては、「真実・独立・公正」の3原則を掲げるジャーナリズム・メディアの役割とその責任は一段と高まっている。授業では、世界の動きの見方やフェイクニュースにだまされないための対策などについて議論する。			
授業計画  第1回:どんな時代に生きているのか 第2回:ポストトゥルースとフェイクニュース 第3回:SNSとスマホの拡散 第4回:新聞の衰退 第5回:反グローバリズムの2つの出来事 第6回:トランプのメディア戦争と2024年大統領選挙 第7回:独裁者と報道の自由 第8回:ジャーナリズムの役割と社会的責任 第9回:報道の原則 第10回:メディアと権力ー調査報道の力 第11回:実名報道と匿名報道 第12回:情報源の明示と秘匿 第13回:誤報と捏造 第14回:戦争・紛争報道 第15回:日米の報道比較 科目修得試験			
スクーリングでの学修  主に授業計画に記載したテーマについて横断的に学ぶ。テキストについては、ダウンロード教科書「ジャーナリズムの役割特論」(佐々木伸著)を中心に講義する。スクーリング前にテキストを読んてくること。			
テキスト  (1)佐々木伸(2025)「世界の見方とジャーナリズム」(ダウンロード教科書) (2)佐々木伸(2025)「SCバワボ資料」(クラスルームに掲載)			
参考書・参考資料等  (1)藤代 裕之(2017)『ネットメディア覇権戦争』光文社新書 (2)津田 大介・日比 嘉高(2017)『ポスト真実の時代』祥伝社			
学生に対する評価  スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			